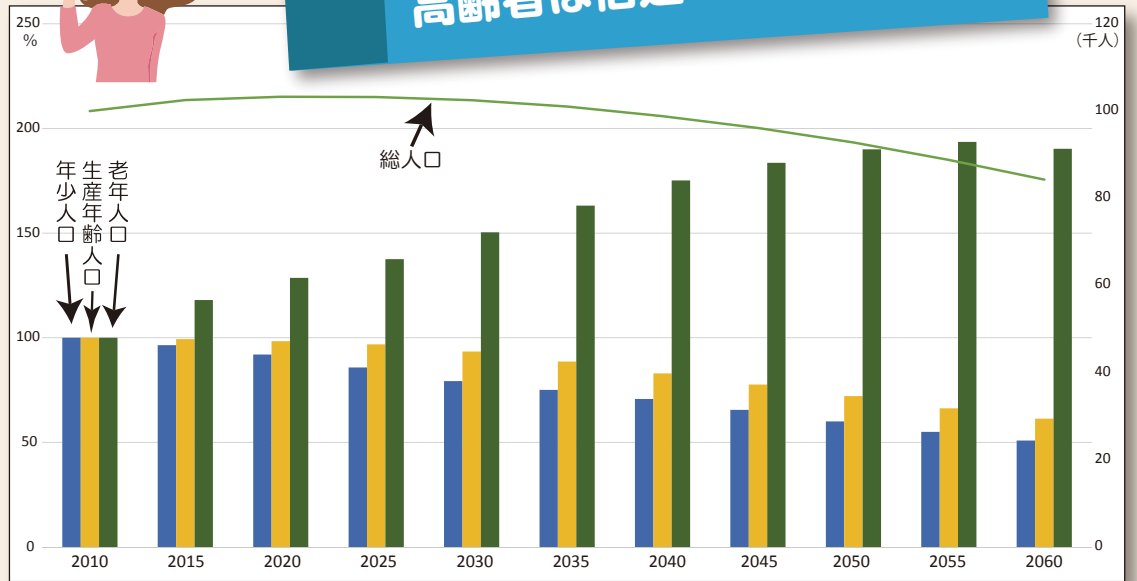




Q どうなる？ どうする？ 小金井の未来



子どもとはたらく世代は半減。
高齢者は倍近くに。



A 子育て環境日本一
健幸長寿ささえ愛のまちに!!

西岡真一郎さんに聞いてみよう!

未来を見据えてチャンスに!

◆編集部 上の図は、地方版総合戦略策定のために内閣官房と経産省が提供している地域経済分析システムRESAS (リーサス) による小金井市の将来人口推計です。2010年を100%として、年少人口(15歳未満)と生産年齢人口(15~65歳未満)、老年人口(65歳以上)の割合がどのように変化するかを推計しています。折れ線グラフは人口推計です。

小金井市の人口はしばらくは微増しますが、その後減少し2060年には年少人口と生産年齢人口は2010年から約半分減少、老年人口は倍近に増えると推計されています。

このような小金井市の未来と持続可能性について、西岡真一郎さんに聞いてみました。

◆西岡真一郎 「はたらく世代が減少し高齢者が増加するこれからの人口構造の変化は、これからの市政の大きな課題です。このまま手をこまねているのではなく、未来を見据えて、今こそ持続可能な小金井市にしなければなりません。

そのためのひとつには、待機児対策や幼児教育、学校教育、学童保育、障がいをお持ちのお子さんへの支援など子どもの育つ環境をより良くして子育て環境日本一の小金井市をめざす必要があります。子どもの

環境がもっと良くなれば、はたらく世代人口も増えていくでしょう。小金井の未来を真剣に考えれば、もっとも重要です。

高齢者人口が増えることは、小金井の魅力さをさらに高めるチャンスだと考えています。シニア世代が持つ知識や経験、何よりも人間力で活躍する場をつくる必要があります。シニア世代が生き活きと暮らすことで市民力がさらに高まるだけでなく、次の世代へと小金井の魅力を伝えていただき、ふるさと小金井づくりにもなります。

市民と一緒にビジョンをつくる

そして、何よりも市民の皆さんがいつまでも健康でいられる政策を重要視しなければなりません。健康で長寿、ささえ愛のまち、小金井に今こそ動き出したい。

小金井市の魅力は、市民力や地域力だと思っています。このような未来を見据えたビジョンを、小金井の新しい時代を今だからこそ、市民の皆さんと一緒にすることが必要です。市民力を結集して、小金井の未来を一緒に作りましょう!!



今こそ 市民力結集!

小金井が好きだ!
小金井の未来をつくる会
facebookはこちら
<https://www.facebook.com/nishioকাশinichirou>

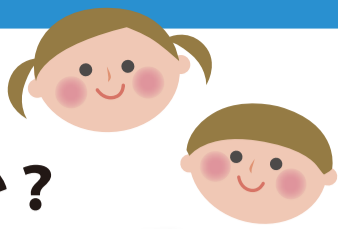
2015.11.02

市民の皆さんと小金井の未来をつくりたい

〈会場〉 小金井市民交流センター 大ホール 〈開会〉 午後7時 〈出演〉 西岡真一郎 他

お問合せ 小金井の未来をつくる会 小金井市本町 5-15-9-105 TEL.042-316-5587

まだまだ西岡真一郎さんに聞きます。



Q 待機児はどうしますか？

待機児ゼロへ！
乳児・幼稚園、小中切れめない支援を

◆**編集部** 小金井市の待機児数は、平成23年度の115名から138、188、257名と急増し27年度でやっと164名と減りました。今後はどうされますか？

◆**西岡真一郎** 「目標はゼロです！ 0～5才の就学前児童数に対しての待機児数の割合を計算し近隣市と比較してみますと、小金井市が最も多いことが分かりました。これは、児童数に対して保育園がまだまだ足りないことが理由です。認可園だけではなく小規模保育や保育ママ、居宅訪問保育など多様な事業で対応します。増やすだけでなく保育の質も重視します。施設や保育士の待遇にも配慮が必要です。これは保育園で働いていた私だからこそ言えます。



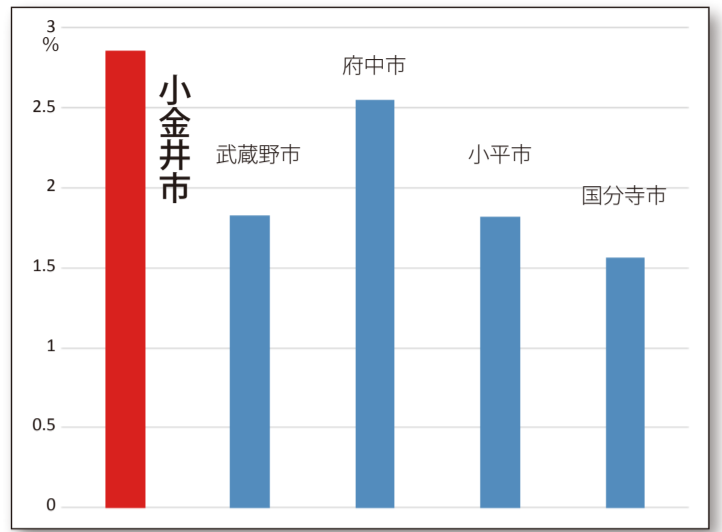
勤務していた
保育園での西岡さん

また、幼稚園や保育園に通う前の子どもへの支援も強化します。先輩ママやパパ、地域による支援や相談体制をつくるホームスタートを実施することや0才から中学校卒業までを1つのスパンとして市役所組織の縦割り支援から横断的支援へと変え、切れ目のない支援体制にします。子どもを真ん中にして家庭・地域・幼稚園・保育園・学校が連携した小金井ならではの取り組みです。

これらは、市内で働く場やコミュニティづくりへもつながります。

(データは東京都福祉保健局による「都内の保育サービスの状況について」より)

就学前児童数に対する待機児割合 (平成27年度)



Q 健幸政策とは？

いつまでも健康に暮らすこと

◆**編集部** 高齢者への政策は？

◆**西岡真一郎** 「高齢者だけではなく、全ての市民が健康でいつまでも小金井市に住み続けられるように介護予防・予防医療を充実させます。健康で暮らすことは幸せにつながりますし市の財政にも好影響になる大

切な政策です。介護や医療を連携させ、さらに地域単位や幅広い市民活動の中に、予防医療を浸透させなくてはなりません。

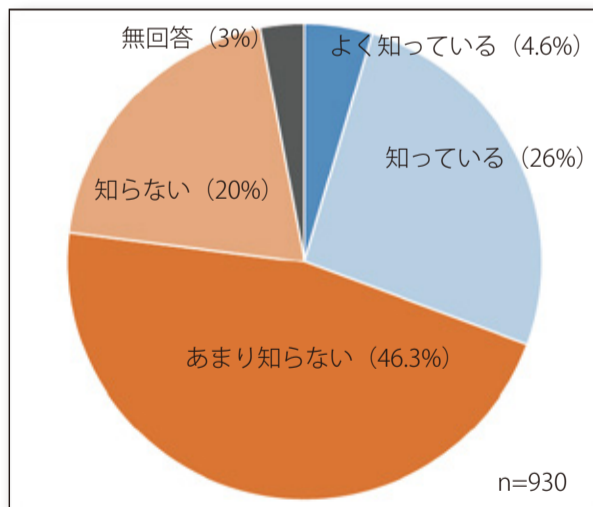
そのためには、まず事業を知ってもらうことです。高齢者へのアンケート調査では、図のように介護予防事業実施を良く知っている人と知っている人の割合が30.6%に対して、知らない、あまり知らない人の割合が66.3%の結果となっています。さらに、健康な生活のために支援してほしいことへの回答は、「情報や知識の提供」が最も多いのが実情です。まずは知ってもらって、参加してもらって楽しんでもらい健康・長寿の小金井市をめざしていきます」

◆**編集部** 期待しています。

(データは小金井市保健福祉総合計画より。平成23年調査)



介護予防事業実施の認知度



他にもやります！ 例えば…

- 学童保育の全員入所維持
- 給食に小金井産野菜を
- 食育推進
- 高齢者見守り隊創設
- グループホームなど高齢者施設拡充
- 大災害時の高齢者避難支援組織を拡充



にしおか しんいちろう
西岡真一郎さん Nishioka Shinichiro

▶ 1969(昭和44)年5月11日生、46才、牡牛座 【無所属】

**無所属
小金井育ち**



◆**履歴** / 小金井市立南小学校、小金井市立第二中学校、都立清瀬高校、獨協大学経済学部卒業。自由民主党本部事務局、新党さきがけ本部事務局に勤務後、米国政府インターナショナル・ビジター・プログラム。1997年小金井市議会議員当選(2期8年)、2005年東京都議会議員(2期8年・民主党公認)、2013年3期目に挑むも惜敗。パピーナ本天沼保育園(認可)事務長

◆**主な地域活動** / 小金井市トライアスロン連合会長、小金井市遺族会会長代行、小金井新能理事、こども達を薬害から守る実行委員会委員、小金井青年会議所シニアクラブ理事、東京小金井ライオンズクラブ理事、NPO法人小金井桜を復活する会副理事長 他